令和6年度

事業報告書

公益財団法人京都府公園公社

目 次

Ι	事業の状況 ····································
	1 概 況
	2 施設別の概要2~5
	(1)山城総合運動公園
	(2)府民スポーツ広場 5
II	指定管理事業によるスポーツ振興・地域振興・緑化推進等
	(1)スポーツの推進・啓発、健康増進事業
	1)スポーツ振興事業
	2)スポーツ支援事業
	(2)地域振興事業
	(3)緑化推進事業
	(3)称化推进手来
ш	自主事業の概要9~11
ш	(1)教室事業····································
	(1)教主事未
	2)スポーツ支援事業
	(2)自主活動支援事業
	(3)障がい者スポーツの利用促進
	(4)スポーツ・緑化基金事業 ····································
	(5)京都府総合型地域スポーツクラブとの連携事業
	(6)公園魅力向上事業
13.7	· 株田(安)(本)
10	機関運営等
	1 組織について
	2 評議員会、理事会等の開催状況
古	** 初生 o 四尼田伽書 14
#	業報告の附属明細書14

令和6年度事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 3 1 日

I 事業の状況

1 概 況

京都府における都市公園等の効率的な管理運営、公園緑化及びスポーツ・レクリエーション 等に関する事業を通して、府民の健康で心豊かな生活の向上並びに地域振興に寄与するため 「スポーツ振興事業」「地域振興事業」「緑化推進事業」「公園利活用・魅力向上事業」を柱とし て事業展開を図り、適正な運営管理に努めた。

今年度は天候等による影響が少なく、予定された競技会・大会・イベントが順調に開催され、公園・広場利用者は 1,629千人(対前年比 111%)となった。

また、ファミリープールは、来場者の利便性向上と運営の効率化を図るため、引き続き予約プラットフォームを活用して営業(上限 5,500人/日)した。期間末に台風の影響によって6日間閉鎖したものの今年度も10万人を超える入場者があった。

施設使用料収入では大きな収入源となっている京都大作戦は予定どおり2日間開催し、約40,000人の入場者があった。

本年度の施設の概要及び入園者数

施設	面積	主 な 施 設	入園者数
山城総合運動公園	1,000,000 m²	陸上競技場、球技場、野球場、体育館、 プール、テニスコート、弓道場など	1,558,842 人
府民スポーツ広場	96,500 m²	多目的グラウンド	70,101 人
合 計	1,096,500 m²		1,628,943 人

表一1 施設利用状況·使用料収入

	施設名	閉園(日)	営業日数	利用人数	使用料収入
		(緊急事態宣言)			
令和6年度	山城総合運動公園		220	1,558,842	239,530,060
	府民スポーツ広場	0	328	70,101	4,406,680
令和5年度	山城総合運動公園		207	1,403,074	207,744,270
	府民スポーツ広場	0	327	61,990	4,427,630
令和4年度	山城総合運動公園	0	226	1,318,214	193,467,660
	府民スポーツ広場	0	326	47,955	4,412,490
令和3年度	山城総合運動公園	00	226	638,173	88,273,140
	府民スポーツ広場	99		52,682	3,307,400
令和2年度	山城総合運動公園	Г1	275	708,870	88,559,330
	府民スポーツ広場	51	275	44,500	3,203,310
平成 29 年度~	山城総合運動公園		225.7	1,348,100	192,804,070
令和元年度平均	府民スポーツ広場	0	325.7	101,069	4,624,830

2 施設別の概要

(1) 山城総合運動公園

公園全体としては、天候に恵まれたことで計画された競技会・大会、イベント等が開催されたことや運動施設の改修工事等による利用停止期間もなかったこと、また、公園利活用・魅力向上事業の効果もありレクリエーション等で園地を利用する人も 90 万人を超え、運動施設の利用者数 65 万人を加えると、総入園者数は 155 万 9 千人となり、前年度から 15 万 5 千人の増加となった。

ファミリープールの営業では、一日の上限を 5,500 人(令和 5 年:5,000 人)とし、予約プラットフォームを活用して時間ごとの分散入場や電子決済を行うとともに、人気のある造波プールにおいては、運転時間の延長(30 分間運転:土日祝日・お盆期間)を行ったことで、混雑緩和と満足度向上が図れた。また、50m プールでは昨年に引き続き水上アスレチックを民間事業者と連携して営業し、1万5千人を超える利用者があり収益の向上に寄与した。

夜間利用の拡大と練習環境の改善を図るため、<u>令和5年度に球技場Aを人工芝ピッチと夜間照明設備を整備</u>(公益財団法人日本サッカー協会の助成金を活用)<u>し、今年度4月から本格的に供用を開始した。今年度の夜間の稼働率は92%</u>(平日91%、土日祝日99%)<u>となり、夜間利用のニーズが多いことがわかった。昼間を含めてさらなる利用拡大に向けて、利用者の意見や要望を踏まえ利用しやすい時間帯の設定や申込み方法の改善などに取り組んでいく。</u>

球技場 B は、芝生の常緑管理に加え、府民ニーズを踏まえた施設整備の検討を進めて指定管理事業として取り組むことが認められた。府が整備した夜間照明やクラブハウスを活用して利用拡大を図るとともに、国際大会等の練習会場として受け入れが可能なように京都府や京都府サッカー協会とも連携し取り組んでいきたいと考えている。

運動施設の利用では、陸上競技場インフィールドや球技場 A の夜間利用が拡大するとともに、工事で閉館していた体育館の利用ができるようになり、利用人数では前年対比で 117.5%、使用料収入では 114.7%のアップにつながった。

5月にクラブハウスや自動販売機の機器破壊及び窃盗の被害が発生したため、夜間の公園の安全管理のため令和7年1月から防犯カメラや人感センサーを活用した警備システム(ゲート、執務室、クラブハウス、ファミリープールトイレ)を導入した。

自主事業では、これまでから取り組んできた未使用運動施設を活用したスポーツ教室事業 (太陽が丘スポーツクラブ) <u>を継続し拡充を図った。</u>また、<u>令和5年度に総合型地域スポーツクラブ全国協議会の登録を行い、</u>令和6年度には地元地域の中学校、京都府中学校体育連盟など関連機関と学校部活動の地域移行に関することについて協議を始めた。

令和3年度から取り組んでいる公園等の魅力向上のための事業(ツリーアスレチック施設運営、屋外リビング飲食サービス運営、キャンプ運営、ジップラインアドベンチャー事業)については、通年営業を行い45,024人の利用があった。

また、新たな取り組みとして、近い将来に発生するといわれている大規模災害時に、府内の子どもたちが自身の安全を確保し、そのうえで地域や社会に貢献していくことの大切さを知るため、太陽が丘でしか出来ない体験をとおして、防災・減災のことを学べる機会となるプログラムを京都府教育庁、危機管理部等と連携して実施し7校314人の参加があった。











救助・運搬

段ボールベッド 避難所宿泊体験

炊き出し体験









消火体験

起震車体験

DIG体験

近隣施設との連携事業として、宇治市植物公園、クリーンパーク折居との協働でデジタル スタンプラリー【紫のウォークラリー】を実施し、施設の利用拡大に努めた。

<u>インクルーシブな公園づくりの取組として、</u>だれでも楽しめる<u>パークシネマ、ナイトバブル</u>の継続開催、ドッグエクストリーム競技の実施やドッグランの設置に向けた調査を行った。







移動式インクルーシブ遊具



ナイトバブル

さらに、広大な太陽が丘を舞台に、京都府内の中学・高校吹奏楽部が集い、日頃の練習の成果を発表する場を支援し文化芸術活動の普及振興を図るイベントの開催に向けて京都府吹奏楽連盟と協働で準備を進めた。

山城総合運動公園「令和6年度新規自主事業」の利用状況について

令和7年3月31日現在

	事業名	7	ツリーアフ	スレチッ	屋外リモ 飲食サート		+	ャンプ事業			サイド サウナ	プール アクティ		水上アス	レチック	ジップラ	テイン	計
	(場所)	(冒険の)森)	(冒険の	7森)	(展望広場)	(ふるさとの森)		(ファミリ	ープール)	(ファミリ	ープール)	(50 m	プール)	(ふるさと	(の森)	HI
	月日		利用者数 (人)	営業日数	利用者数(人)	営業日数	利用者数(人)	利用者数 (人)	営業日数	利用者数 (人)	営業日数	利用者数 (人)	営業日数	利用者数 (人)	営業日数	利用者数 (人)	営業日数	利用者数 (人)
4月1日(月)	~	4月30日(火)	5,173	28	1,315	21	102	457	21			73	3			292	21	7,412
5月1日(水)	~	5月31日(金)	4,219	28	1,720	28	149	877	23			125	3			372	28	7,462
6月1日(土)	~	6月30日(日)	1,261	27	812	29	30	249	22							83	10	2,435
7月1日(月)	~	7月31日(水)	211	20	344	23	18	207	15					4,245	19	54	10	5,079
8月1日(木)	~	8月31日(土)	463	24	738	23	157	221	26					10,881	26	108	26	12,568
9月1日(日)	~	9月30日(月)	935	22	491	20	39	290	22					434	8	67	11	2,256
10月1日(火)	~	10月31日(木)	1,052	16	663	23	67	553	21			14	3			232	11	2,581
11月1日(金)	~	11月30日(土)	444	16	356	22	114	433	22							120	10	1,467
12月1日(日)	~	12月27日(金)	351	19	132	9	30	146	19							23	8	682
1月5日(日)	~	1月31日(金)	600	19	18	8	0	46	17							39	8	703
2月1日(土)	~	2月28日(金)	335	20	35	13	7	35	20							38	11	450
3月1日(土)	~	3月31日(月)	1,061	24	480	27	46	209	24	4						129	16	1,929
	計		16,105	263	7,104	246	759	3,723	252	4	0	212	9	15,560	53	1,557	170	45,024

平日の利用の促進拡大を図るため取り組んできた「校外学習プラン」提供事業では、府内 16 校、府外 2 校が利用し、昨年を上回る 3,719 人が参加した。

令和6年度太陽が丘「校外学習プラン」利用状況

日	学校名	利用者数(人)	内容
4月12日(金)	京都府立乙訓高等学校	235	カンケイづくり、ツリーアスレチック、ニュースポーツ
4月19日(金)	京都府立久御山高等学校	197	カンケイづくり、ツリーアスレチック、ニュースポーツ
4月23日(火)	京都府立西城陽高等学校	274	カンケイづくり、ツリーアスレチック、ニュースポーツ、BBQ
4月24日(水)	京都府立東宇治高等学校	280	カンケイづくり、ツリーアスレチック、BBQ
4月25日(木)	京都府立西舞鶴高等学校	190	カンケイづくり、ツリーアスレチック、ニュースポーツ
4月26日(金)	京都府立鴨沂高等学校	234	カンケイづくり、アイススケート
4月30日(金)	京都府立菟道高等学校	258	カンケイづくり、ツリーアスレチック、アイススケート、BBQ
5月1日(水)	京都府立城陽高等学校	267	カンケイづくり、ツリーアスレチック、アイススケート
5月 2日(木)	京都府立桂高等学校	356	ツリーアスレチック、アイススケート、ニュースポーツ、BBQ
5月9日(木)	京都府立北稜高等学校	238	カンケイづくり、アイススケート、BBQ
5月10日(金)	京都府立日吉ヶ丘高等学校	231	カンケイづくり、ツリーアスレチック、アイススケート
5月16日(木)	京都府立手やまぶき支援学校	20	ニュースポーツ、BBQ
5月24日(金)	門真市立第五中学校	124	カンケイづくり、ツリーアスレチック
5月31日(金)	京都教育大学附属高等学校	142	カンケイづくり、ツリーアスレチック
6月10日(月)	長岡市立長岡中学校	183	カンケイづくり、ニュースポーツ、ツリーアスレチック
6月13日(木)	同志社国際中学校	120	ツリーアスレチック、アイススケート、BBQ
6月18日(火)	奈良大学付属高等学校	134	カンケイづくり、ツリーアスレチック、ニュースポーツ、BBQ
6月20日(木)	京都府立城南菱創高等学校	236	ニュースポーツ、BBQ
	合 計	3,719	

令和 6 年度の府の施設改修では、園内に展示されている S L の屋根が設置されたほか、修繕関係では、受電設備や上水設備など老朽化の故障で長期間の休園につながるインフラ施設を中心に長寿命化や機器の更新に取組むとともに機器の効果的・効率的な操作により経費の削減に取り組んだ。

1) 施設利用者数等

単位:人

	区 分	令和6年度	令和5年度	06/05	備考
総	入 園 者 数	1,558,842	1,403,074	111.1%	
	運動施設実数	654,075	556,541	117.5%	
	運動施設延数	732,371	621,043	117.9%	
	陸上競技場	93,145	84,345	110.4%	
	第2競技場	66,572	76,742	86.7%	京都大作戦 2 日間開催
	球技場	97,846	47,743	204.9%	
	野球場	103.749	106,771	97.2%	ファミリープール
	テニスコート	80,278	64,085	125.3%	上限 5,500 人/日を
	屋内競技場	185,226	134,158	138.1%	設定し営業
	弓道場	2,458	2,405	102.2%	
	ファミリープール	102,977	104,709	98.3%	
	競泳プール	120	85	141.2%	
	その他施設	904,767	846,357	106.9%	

単位:台

								1 1—4	<u> </u>
	区	分		令和6年度	令和5年度	06/05	備	考	
ļ	駐 車 場	利用	台 数	368,010	329,606	111.7%			
	有	料	分	226,140	196,185	115.3%			

2) 使用料収納状況

単位:円

	区 分	令和6年度	令和5年度	06/05	備考
収	入 額	239,530,060	207,744,270	115.3%	
	運 動 施 設	135,005,390	117,662,990	114.7%	
	陸上競技場	8,295,100	7,544,660	109.9%	
	第2競技場	14,355,600	13,808,900	104.0%	
	球技場	8,974560	2,857,440	314.1%	京都大作戦 2日間開催
	野球場	9,295,940	9,898,690	93.9%	
	テニスコート	30,400,200	28,010,670	108.5%	ファミリープール
	屋内競技場	17,088,240	8,646,290	197.6%	上限 5,500 人/日を
	弓道場	665,300	618,540	107.6%	設定し営業
	ファミリープール	45,831,710	46,179,060	99.2%	
	競泳プール	98,740	98,740	100.0%	
	附属設備等	11,394,570	9,547,130	119.4%	
	駐 車 場	93,130,100	80,534,150	115.6%	

(2) 府民スポーツ広場

広場も一年を通じて天候に恵まれたこと、また小学生の各種スポーツ大会も増加したことから、施設利用者数は7万人となり、前年度との対比では113.1%と8千人の増加となった。

また、広場のグラウンド機能向上及び利用時間の拡大に向けて、京都府サッカー協会の協力を得てグラウンドの人工芝化及び夜間照明の設置に関する利用者ニーズ等について調査を行った。

さらに、太陽が丘陸上競技場から移植した芝生の管理を行いこどものあそびばづくりや 休憩所としての活用を進めた。

1) 施設利用者数

単位:人

	Þ	<u> </u>	分		令和6年度	令和5年度	06/05	備考
総	入	園	者	数	70,101	61,990	113.1%	

2) 使用料収納状況

単位:円

	区 分		令和6年度	令和5年度	06/05	備考
収	入	額	4,406,680	4,427,630	99.5%	

II 指定管理事業によるスポーツ振興・地域振興・緑化推進等事業の概要

(1) スポーツの推進・啓発、健康増進事業

スポーツに接する機会や場の提供を行うことにより、家族や地域の方たちと一緒に身体を動か すことの楽しさを実感し、健康づくりと日常的にスポーツに参加するきっかけとなるよう普及・ 啓発イベントの実施に向けて取り組んだ。

1) スポーツ振興事業

開催場所	事 業 名	開催時期	回数	
	京都サンガF.C.共催	5月26日	2	
	親子ふれあいサッカー	11月6日	2	
	アクアスロン講習会	7 月	中止	
	太陽が丘アクアスロン大会	9月8日	中止	
	スポーツ レクリエーションフェスタ	5 H 10 H	1	
山城総合運動公園	(京都府レクリエーション協会共催)	5月19日	1	
	グラウンド・ゴルフ大会	9月	中止	
	弓道体験会	毎月第3土曜日	12	
	京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会連携事業 ボッチャ de フェスタ	11月17日	1	
府民スポーツ広場	みどりが丘グラウンド・ゴルフ大会	5月11日	1	

2) スポーツ支援事業

子どもたちのスポーツ活動の選択肢の拡大と活動の継続を支援するため、学校教育(小学生・中学生・高校生)との連携を広げ、子どもたちの健全育成とスポーツ活動及び競技力の向上に向け、スポーツ団体、障がい者スポーツ団体等が各事業に取り組めるよう、当公社が資金や施設面において支援を行う事業を実施した。

○教育機関との連携事業

開催場所	事業	名	開催時期
	京都府中学校体育連盟連携事業 ・陸上競技 ・サッカー	施設の優先利用 練習機会の拡大 競技力の向上	活動開始に 向けて協議
山城総合運動公園	アイススケートチャレンジ事業 (宇治市教育委員会、木下アカデミー 連携事業)	冬季スポーツの普及・振興	宇治市立 小学校 22 校 1,391 人

○競技力向上、スポーツの普及・啓発を目的とした事業

実施団体	事 業 名	開催日
京都陸上競技協会	太陽が丘陸上競技場 ナイター中長記録会	9月21日
京都障害者スポーツ振興会	パラリンピックにチャレンジ	11月4日
	指導者育成コーチングプログラムIN太陽が丘	12月7日
京都府中学校体育連盟	旧等有自成。 アンプログラムエト人間が正	1月18日
	京都中学ATHLETE競技力向上IN太陽が丘	1月18日

(2)地域振興事業

「地域の公園」との位置づけのもと、地域社会との共存・連携・協働体制を構築することにより、地元開催の事業推進と地域活性化につながる関連団体との連携した空き施設や閑散期の駐車場を活用したイベント開催等に取り組んだ。

1) 公園の賑わいの創出を目的に地域と連携した事業

開催場所	事 業 名	開催時期	連携団体
	京都府宇治警察署交通安全啓発事業連携	7月23日	京都府宇治警察署
	宇治市消防署連携事業(救急連携)	12月5·6日 3月2日	宇治市消防署
	みどりの中 de ミニコンサート	10月20日	宇治市福祉サービス公社
	Forever Folk ピクニック in 太陽が丘	11月8日	宇治市フォークソング愛好会
	元気っ子集まれフェスティバル	4月29日他19回	グラフィックバード
	SL見学会	5月5日	太陽が丘SL保存会
	ミニ機関車 乗車会	5月26日 10月20日	京都府立田辺高等学校
	京都文教短期大学連携事業	12月15日	京都文教短期大学
	宇治川マラソン	2月23日	宇治川マラソン 実行委員会
山城総合運動公園	フリーマーケット	9月29日 10月20日 3月30日 3回	なでしこふれあい マーケット協会
	京都府総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会連携事業 研修会、「災」その時あなたは!	11月17日 3月9日	京都府総合型地域スポ ーツクラブ連絡協議会 山城ブロック
	公園ボランティア、 S L ボランティア 活動	通年 12 回	公園ボランティア SL 保存会
	コスプレイベント	4月~6月·9月 10月·12月 22回	京町屋フォトスタジオ 京都下鴨茶論
	ういてまて! 体験	8月18日・21日 26日	日本防災士会 京都府支部
	ファミリープール内ラジオ体操	7月14日 8月14日~16日 8月26日	一般社団法人 ラジーン
	紫のウォークラリー	9月20日~11月30日	宇治市植物公園 クリーンパーク折居
開催場所	事 業 名	開催時期	連携団体

	スポーツカーニバル	10月14日	宇治市
	太陽が丘マルシェ	5月26日 10月14日	こどもちず
	アロハジャンボリー	5月4日・5日	ALOHA JAMBOREE 実行委員会
	パークシネマ	11月3日	ミラスタ!つながる"こう えん"プロジェクト
山城総合運動公園	ナイトバブル イベント	4月6日・7日	アウトドアリビング 合同会社オレンジハーフ
	ドッグエクストリーム大会	4月13日・14日	ドッグライフプランはしもと
	ファミリープール内ラジオ体操	8月11日・12日・ 13日	ラジーン
	防災・減災校外学習	10月17日·18日 12月19日	京都府、宇治市 京都防災士協会 他
	遊びの森 噴水エリア	10月 土日祝日	• •

2) 教育機関、学校や地域、大学等と連携した事業

開催場所	事業名	開催時期	回数
	ファミリープールプレオープン	7月12日	雨天中止 宇治市 城陽市
山城総合運動公園	職場体験学習 インターンシップ 職場体験演習	春・秋	6
	ウォーターボーイズ公演 ・京都府立山城高等学校、OB グループ ・京都市立西京高等学校	8月25・26日	2
	ドローン講習会(京都府建設産業団体連合会)	10月・11月	3

(3)緑化推進事業

自然とふれあう機会の拡充により健全な心身の育成を図り、教育機関や民間事業者、地元関係団体との連携し、自然体験学習に取り組んだ。

緑化の推進と啓発、自然との触れ合いを目的とした事業

開催場所	事 業 名	開催時期	回数
	緑のウォークラリー (宇治市共催)	4月29日	1
	森のクラフト屋さん	4月14日	1
	おりがみヒコーキを作ってとばそう	5月5日、26日	2
		10月20日	3
山城総合運動公園	探鳥会	5月5日、10月14日	2
		2月16日	3
	水生昆虫を調査!	5月19日	1
	夏の昆虫採集 (夜間)	8月	中止
	緑化のつどい	10 月	中止
開催場所	事 業 名	開催時期	回数

山城総合運動公園	公園ボランティア	毎月第2火曜日	11
	SLボランティア	毎月第2日曜日	8
	京都SKYセンター協働事業(森の活動)	通年	
	フォレスターうじ協働事業(森の活動)	通年	1
	環境フェスタ (城南衛生管理組合連携事業)	10月20日	1
府民スポーツ広場	みんなで植樹活動	陸上競技場から移植した芝生の	
		管理	

Ⅲ 自主事業の概要

(1)自主事業による教室事業

1) スポーツ振興事業:太陽が丘スポーツクラブ

メニュー・プログラムは、広く府民の方々が参加できるよう多種多様なプログラムを設定し、 スポーツに参加するきっかけづくりから自主活動の支援まで、生涯にわたってスポーツに親しみ、 健康づくりに取り組める環境づくりを進めた。

①子どものスポーツ推進を目的とした事業

開催場所	事 業 名	開催時期	回数
	陸 上 競 技	通年	19
	ジュニアサッカー	通年	22
	ジュニアバスケットボール	通年	34
	ジュニアテニスA (水)	通年	47
	京都ハンナリーズジュニアバスケットボールスクール	通年	44
	京都ハンナリーズジュニアHIバスケットボールスクール	通年	44
山城総合運動公園	京都サンガF.C.キッズチダンススクール		
	・リトルクラス(年中・年長)	通年	各 36
	・キッズクラス(小学1年生から3年生)		
	スラックラインクラブ	通年	9
	ダンススクール(Hip Hop)		
	・キッズ	通年	45
	・ジュニア		

②生涯スポーツの推進、子育て世代のスポーツ推進を目的とした事業

開催場所	事 業 名	開催時期	回数
	テニス (月) (※ 保育ルーム設置)	通年	27
	テニス(水)(※ 保育ルーム設置)	通年	34
	テニス(金)(※保育ルーム設置)	通年	32
	テニス(月一夜間)	通年	32
山城総合運動公園	テニス(水一夜間)	通年	40
	ョ ガ	通年	45
	バドミントン(※ 保育ルーム設置)	通年	34
	バレーボール(※ 保育ルーム設置)	通年	34

③中高年の健康の維持・増進を目的とした事業

開催場所	事 業 名	開催時期	回数
	さわやか健康(月)	通年	37
	さわやか健康(水)	通年	44
山城総合運動公園	ストレッチ&軽運動(保育ルーム設置)	春・秋・冬	37
	スローエアロビック	春・秋・冬	41
	シニアテニス (月)	通年	26
府民スポーツ広場	グラウンド・ゴルフのつどい (火・水)	通年	63
		6月4日	
	みどりが丘グラウンド・ゴルフのつどい交流大会	10月15日	3
		11月12日	

2)スポーツ支援事業

子どもたちのスポーツ活動の選択肢の拡大と活動の継続を支援するため、学校教育(小学生・中学生・高校生)との連携を広げ、子どもたちの健全育成とスポーツ活動及び競技力の向上に向けて取り組んだ。

○スポーツ活動の選択肢の拡大、活動の継続

開催場所	事業	名	開催時期	
山城総合運動公園	ソフトテニスアカデミー ・小学生、中学生、高校生(月) ・小学生、中学生、高校生(水)	施設の優先利用 練習機会の拡大 競技力の向上	通年 各クラス 99 回	

(2)自主活動支援事業

公園を拠点に自主活動しているグループ・団体等に対して、活動を定着・継続していくため、 仲間づくりや活動の場の提供、相談など側面的な支援を行った。

開催場所	事	業	名	開催時期
山城総合運動公園	・太陽が丘 ジョギングクラブ ・テニスクラブ		施設の優先利用 ミーティングルームの 無償提供	通年

(3)障がい者スポーツの利用促進

障がい者と健常者が一緒に活動できるプログラム等の実施に向け、関係団体及び京都府総合型 地域スポーツクラブ連絡協議会山城ブロック等と協議し、実施に向けて取り組んだ。

開催場所	事 業 名	開催時期	回数
山城総合運動公園	京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会連携事業	11 日 17 日	1
山城松石建助公園	ボッチャ de フェスタ	11月17日	1

(4)スポーツ・緑化基金事業

「スポーツ緑化基金」を活用して実施する東北3県との交流事業「東京2020オリンピック・パラリンピック記念事業」は、震災からの15年目を機にこの交流事業が確かなレガシーとなるよう、令和6年度福島県との交流事業を開催した。

開催場所	事 業 名	開催時期
福島県内施設 ・あづま総合運動公園	京都府と東北三県(福島県、宮城県、岩手県)の小学生とスポーツ・ 緑化を通しての交流 ミニバスケットボールでのスポーツ交流 参加者 100 名	8月3日 ~5日

(5)京都府総合型地域スポーツクラブとの連携事業

イベントの協働開催や情報交換など活発な交流を図り、京都府南部のスポーツ人口の拡大と健康の増進に向けて取り組んだ。

開催場所	事 業 名	開催時期	回数
山城総合運動公園	京都府総合型地域スポーツクラブ連絡協議会連携事業	3月9日	1
	山城ブロック研修会・講習会 など	3 月 9 日	1

(6)公園魅力向上事業

広大なエリアにある公園施設や広場などの未利用期間、時間、空間を有効活用するため、専門業者 と連携し、新しい機能や価値を来園者に提供するサービス事業に取り組んだ。

令和 6 年度は展望広場キャンプ場の本格運用やジップラインアドベンチャー事業を提供し、また 学校教育機関と連携した校外学習プランの拡充に取り組んだ。

○未活用の公共空間や遊休期間の施設利用促進を図る事業を実施した。

公園魅力向上事業

開催場所	事 業 名	開催時期	参加人数
山城総合運動公園	ツリーアスレチック事業	通年	16,105
	アトラクションプール事業	ファミリープール	4==40
		営業期間	15,560
	アウトドアリビングスペース提供事業	通年	7,104
	ジップラインアドベンチャー	通年	1,557
	校外学習プラン	春・秋	3,719
	キャンプ事業 (ふるさとの森、展望広場)	通年	4,482
	もうひとつの京都 観光資源発掘事業		
	プールサイドコンテンツ	10 月	212
	・テントサウナ ・ふわふわスライダー	5 月	212
	・パドラーボート ・化石発掘体験 など		

IV 機関運営等

1 組織について

(1) 役員等就任状況(令和7年3月31日現在)

評議員

役 員

的人六			
役職名	氏 名		
	川﨑浩孝		
	杉 本 雅 士		
評議員	平 川 良 浩		
	藤 森 和 也		
	山 仲 修 矢		

役職名	氏 名
理事長	山 本 誠 三
常務理事	山 本 敏 広
理事	生 駒 智 史
	大路達夫
	大 森 晋
	長谷川好子
	畑 村 博 行
	水野加余子
	米 田 晃 之
監事	上田幸正

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

(2) 職員配置(令和7年3月31日現在)

事務局長 1	総務グループ	リーダー(1)	職員(4)
	5		*再雇用(1)含む
	山城総合運動公園	所長(事務局長兼務)	事業課(21)
総計 (30)	24	次長(1)	経営・戦略室(2)
			*再雇用・非常勤(19)含む

2 評議員会・理事会等の開催状況

- (1) 評議員会
 - 1) 第 26 回評議員会 令和 6 年 6 月 27 日 (木) 13 時 31 分~14 時 29 分 都ホテル京都八条「八坂の間」

議案 第1号議案 令和5年度収支決算(案)の承認(承認) 第2号議案 評議員、理事及び監事の選任(承認)

報告

- ・令和5年度事業報告
- · 令和 5 年度職務執行状況報告
- ・山城総合運動公園におけるクラブハウスや自動販売機の機器破損及び窃盗の 被害について

議案 第1号議案 評議員会会長の選定

報告

- ・役員等の選任について
- ・令和6年度事業計画及び収支予算書
- ・山城総合運動公園におけるクラブハウスや自動販売機の機器破壊及び窃盗の 被害について

(2) 理事会

9時58分~11時01分 都ホテル京都八条「桂の間」

議案 第1号議案 令和5年度事業報告及び計算書類等の承認(承認)

第2号議案 第26回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の

決定 (承認)

第3号議案 第27回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の

決定 (承認)

報告 山城総合運動公園におけるクラブハウスや自動販売機の器物破壊及び窃盗の被

害について

11 時 03 分 ~ 11 時 53 分 都ホテル京都八条「八坂の間」

議案 第1号議案 理事長及び常務理事の選定(承認)

報告 役員等の選任について

3) 第 45 回理事会 令和 7 年 3 月 26 日 (水)

9時55分~11時24分 都ホテル京都八条「桂の間」

議案 第1号議案 令和7年度事業計画書の承認(承認)

第2号議案 令和7年度収支予算書の承認(承認)

第3号議案 組織規程の一部を改正する件(承認)

第4号議案 就業規則の一部を改正する件(承認)

第5号議案 給与規定の一部を改正する件(承認)

第6号議案 職員の再雇用に関する規定の一部を改正する件(承認)

第7号議案 特定費用準備資金の取り崩しについて承認を求める件(承認)

報告 ・借入金の適用金利変更について

・令和6年度決算見込みについて

・令和6年度職務執行状況等について

・公社運営に関する意見聴取(各理事)

(3) 監事監査 令和7年5月30日(金)午後4時

山城総合運動公園

会計監査人による会計監査報告 監事による監査

- 会計監査
- 業務監查
- (4) 会計監査人監査 令和7年5月13日(火)~令和7年5月19日(月)

山城総合運動公園・会計監査人事務所

財務諸表等の監査

公益財団法人京都府公園公社定款第9条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。